



大阪 安全宣言。

地域における防犯活動への取組

地域安全センターを活用した 地域防犯力の向上を目指して

地域の防犯ボランティア活動の拠点として、平成21年度から設置を進めてきた地域安全センターは、各地域で防犯ボランティア活動をされている皆さまのご協力をいただき、府内のほぼ全小学校区に設置することができました。

大阪府では、引き続き、府内の地域安全センターで懸命に防犯ボランティア活動をされている皆さまや、市町村における防犯の取組等の紹介を通じて、センターを中心とした防犯ボランティア活動の活性化に取り組み、地域防犯力向上を目指してまいります。

高石市の高陽小学校区では、地域安全センター「高陽っ子見まもり隊」の防犯ボランティアの方々が、下校時の見まもり活動を行っています。

約40名の地域の方々が、校区内の8つの場所で、下校時の午後1時から午後4時までの間、夏の暑い日や冬の厳しい寒さの日でも休むことなく活動を行っています。

交差点で信号を待っている児童も、ボランティアの方に声をかけられると、親しそうに話をしていました。



高陽小学校区での見まもり活動



葦原小学校区地域安全センターでの防犯教室

茨木市の葦原小学校区地域安全センターでは登下校時の子ども見まもりや、青色防犯パトロールなど活発に活動しています。

2月には、大阪府警察本部生活安全指導班による特殊詐欺被害防止の防犯教室を開催しました。

警察官が大阪のおばちゃんに扮して詐欺被害に遭わないためのポイントをユーモアたっぷりに実演し、会場からは大きな笑いが何度も巻き起こっていました。

この機会を通じて、特殊詐欺に対する防犯意識を向上することができました。

地域における防犯活動への取組

地域において様々な防犯活動が行われています！

交野市星田山手地区では、5年前から、地域の方で組織する「ごきげんさん連絡協議会」が、一人暮らしの高齢者宅を定期的に訪問する活動を行っています。

高齢者宅を訪問する際には、独自で作成した広報紙を持って行き、特殊詐欺やひったくり等の犯罪に対する注意を呼びかけています。

また、高齢者の様子がおかしい時は、民生委員に連絡するなど、住民同士が協力した地域の見まもり活動を行っています。



ごきげんさん連絡員による独居老人見まもり活動



特殊詐欺被害防止プランター植替え・贈呈式

池田市の北豊島小学校では、土木事務所や地域住民等と合同で特殊詐欺被害防止プランター植替え・贈呈式を行いました。

児童達は、特殊詐欺への注意等が書かれたステッカーを貼ったプランターに、自分達で大事に育てたパンジー等を地域の方や警察官等と一緒に植え替えました。

プランターは、児童達から地域安全センターや自治会館等、高齢者が立ち寄る施設へ寄贈されました。

今後、プランターを通じて施設を利用する高齢者に特殊詐欺の被害に遭わないよう呼びかけていきます。

河内長野市の南花台小学校区では、地域安全センターの一員である「南花台防犯協力隊」の方が児童の見まもり活動を行っています。

同隊は、13年前から活動を続け、「参加者ができる範囲で活動を行う」との考えのもと、現在は30名のボランティアの方が青色防犯パトロールなどによる見まもり活動を行っています。

小学校の前では、ボランティアの方に児童が話かけたり、保護者が声をかけたりと、活動が地域に溶け込んでいる様子がうかがえました。



南花台防犯協力隊による見まもり活動

オレオレ詐欺や還付金等詐欺などの特殊詐欺が府内で多発しています。

大阪府では、今後、地域安全センター等と連携し、防犯機能付電話機等の普及など、特殊詐欺被害防止の取組を推進していきます。

被害の防止に効果がある、犯人等から電話がかかってきても自動で着信を拒否する防犯機能付電話機（写真は自動着信拒否機）

